

# 平成22年度 保健福祉局実施プラン中間報告

## 1 中間報告の概要

保健福祉局では、平成19年12月に策定された第2次札幌新まちづくり計画に掲げる「高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街」、「子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街」といったまちづくりの目標を踏まえ、保健福祉行政を推進し、市民の福祉の向上を図るため、このプランで掲げた項目の実施に取り組んでおります。

年度の前半を終え、これまでの取組の進捗状況については、一部、当初の計画との間に開きのある事業もありますが、全体的には概ね順調な経過であると考えております。

年度後半におきましても、引き続き目標の達成に向けて、職員が一丸となり、着実に施策を進めてまいります。

平成22年(2010年)9月30日

保健福祉局長 岡村 龍一

保健福祉局医務監 渡部 正行

## 2 重点取組項目の進捗状況

年度前半（9月末時点）の取組の進捗状況について、記号などを用いて、市民の皆さんに分かりやすいものとなるよう表現しました。

### 中間報告の見方

**事業名を記載（記載済）**

**進捗度 /**

事業の内容を記載しました。

**上半期の取組状況**

9月末時点における進捗状況を記載しました。

**今後の取組**

年度後半に向けた今後の取組内容を記載しました。

9月末時点の進捗度を分かりやすく記号で表現しました。

- ・・・計画以上のもの（進捗良好・内容充実）。
- ・・・計画どおりのもの。
- ・・・計画に対して思わしくないもの。

# (1) まちづくりの施策

## 高齢者の地域生活支援の充実

### 福祉のまち推進センター補助・ステップアップ事業

進捗度 /

区や地区福祉のまち推進センターによる地域の支え合い活動を推進するため、活動費や拠点確保について支援をします。

#### 上半期の取組状況

地域の支え合い活動を推進するため、活動費や拠点確保について支援をしました。また、活動を多くの市民の方に知ってもらうため、フォーラムやパネル展を開催しました。

#### 今後の取組

引き続き、地域の支え合い活動を推進するとともに、地域の課題整理、住民意識の共有化等を支援するため、7地区に福まち助っ人（アドバイザー）を派遣します。

### 福祉除雪事業

進捗度 /

自力で除雪が困難な高齢者や障がいのある方が冬期間も安心して暮らせるよう、地域協力員が間口除雪などのサービスを行うとともに声かけなどの安否確認を行います。

#### 上半期の取組状況

退職予定者説明会などを通じて、除雪サービスを行う地域協力員を広くPRをしました。

#### 今後の取組

協力員を広く募集するため、大学等に通う若い世代の方に対しても参加の呼びかけを行います。



### はつらつシニアサポート事業（高齢者地域貢献支援事業）

進捗度 /

高齢者の地域貢献活動に結びつけるきっかけづくりとなるような、高齢者団体の自主的な運営による、新しい時代の高齢者の地域貢献活動などを支援します。

#### 上半期の取組状況

4月～5月と8月～9月に、補助申請団体の募集を行いました。また、利用促進に向けて、補助要件の緩和を図るなどの補助要綱の改正を8月に行いました。

#### 今後の取組

当事業のPRの強化を行うとともに、補助申請手続きにおける支援体制の構築についても検討していきます。

## 札幌あい(愛)・あい(目)ネット事業 (孤立死防止・地域連携ネットワークモデル事業)

進捗度 /

出前講座等により市民への普及啓発を進めるとともに、モデル事業として新聞販売店等の各種事業者との連携による複合的な見守り・安否確認の仕組みづくりを進めます。

### 上半期の取組状況

出前講座により継続的に普及啓発を実施するとともに、モデル事業の実施に向け、対象地区の選定作業や関係機関等との協議を行いました。

### 今後の取組

モデル事業の対象地区を決定後、関係機関による会議を実施し、複合的な見守り・安否確認の仕組みづくりに着手します。

## 認知症サポーター養成事業

進捗度 /

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる支援体制を強化するため、認知症の理解者となる「認知症サポーター」の養成講座を開催します。

### 上半期の取組状況

8月末現在1,834人の認知症サポーターを養成し、累計で13,847人養成しました。

### 今後の取組

23年3月末までに、福祉職場職員の認知症サポーターを1,000名養成します。



## 認知症支援事業

進捗度 /

認知症になっても住みなれた地域での生活が継続できるよう、若年性認知症の方を含めた認知症の方とその家族を支援する事業を実施します。

### 上半期の取組状況

22年6月1日から「認知症コールセンター」を開設し、8月末までに154件の相談に応じています。また、ケア友の会(男性介護者のつどい)などを開催しました。

### 今後の取組

引き続き認知症コールセンターにて、電話相談に応じるほか、ケア友の会の地域開催、市民向け講演会や介護従事者向け研修会などの開催を予定しています。

## 地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)

進捗度 /

21か所(22年4月に4か所増設)で運営している地域包括支援センターについては、増設センターも含めて順調に運営されています。

#### 上半期の取組状況

地域包括支援センターについて、市民公募により愛称とイメージキャラクターを検討しました。

#### 今後の取組

地域包括支援センターの愛称とイメージキャラクターの周知を図り、市民から一層親しまれるセンターの運営に努めます。



### 認知症高齢者グループホームスプリンクラー整備費補助

進捗度 /

認知症高齢者グループホームの防火安全対策等の強化のため、21年度から23年度の3か年でスプリンクラーの整備を進めています。

#### 上半期の取組状況

設置義務のある未設置事業所141事業所のうち、当初99事業所がスプリンクラー設備の整備をする予定でしたが、更に26事業所分を追加で整備する予定です。

#### 今後の取組

スプリンクラー設備の整備促進を図るため、事業所に対し啓蒙と指導を行っていきます。

### 特別養護老人ホーム新築費補助（広域型・地域密着型）

進捗度 /

居宅での生活が難しくなった高齢者にとって、介護を受けながら生活ができる場所である特別養護老人ホームを新しく建てる事業者に対して補助します。

#### 上半期の取組状況

平成22年度は、3か所の特別養護老人ホームの整備を行っています。

#### 今後の取組

高齢者が安心して生活ができる介護サービスの基盤を計画に基づき提供していきます。



### 札幌市地域リハビリテーション推進協議会

進捗度 /

高齢者や障害のある方が、住み慣れた地域で生き生きと自立した生活を送れるように地域リハビリテーションを推進します。

#### 上半期の取組状況

地域リハビリテーションハンドブックの販売（4月）。同ハンドブックの内容をホームページに公開（6月）。地域リハビリテーション推進協議会と地域研修会を開催（9月）。

#### 今後の取組

地域リハビリテーション従事者の資質向上のため、10月に地域研修会および全体研修会の開催を予定しています。

## 障がい者の自立支援の促進

### 障がい者相談支援事業等

進捗度 /

障がいのある方とその家族の地域生活を支えるため、各種情報提供や福祉サービスの利用援助などを行います。また、相談支援事業所を1か所増やします。

#### 上半期の取組状況

相談支援事業所は平成22年度中に16か所の設置を目標としており、その目標に向けて新規相談支援事業所選定委員会を開催し、委託法人を決定しました。

#### 今後の取組

新しく増えた相談支援事業所を含め、相談支援の質の向上を図るため、各種研修や学習会等を開催していきます。

### パーソナルアシスタンス事業

進捗度 /

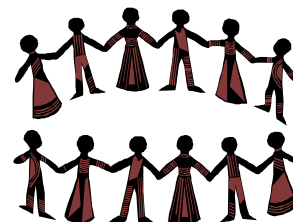
地域の方々が有償ボランティアとして、重度身体障がい者の介助に参加できる仕組みを構築し、介助制度の充実を図ることで、重度身体障がい者の地域生活を支えます。

#### 上半期の取組状況

17名の重度身体障がい者が制度を利用しており、介助希望者も約200名が登録しています。

#### 今後の取組

登録介助者を増やすために、関係機関に働きかけ、幅広い年代の介助者を確保していきます。



### 精神障がい者地域生活移行支援事業

進捗度 /

退院可能な精神障がい者を地域生活に移行させるため、個別支援等にあたる支援員を配置し、地域と連携を図りつつ精神障がい者の円滑な地域移行の促進を図ります。

#### 上半期の取組状況

対象者への支援を行うとともに、札幌市内及び近郊の事業所や精神科病院を対象とした事例検討・研修会や、ピアサポーターへの研修や交流会の実施。パンフレットの作成。

#### 今後の取組

対象者を増やすため、精神科病院等へ事業の普及啓発を行います。また、養成しているピアサポーターが、この事業に留まらず活躍するための検討などを予定しています。

### 元気ショップ等拡充整備

進捗度 /

障がいのある方が作った製品を販売する「元気ショップ」(地下鉄大通駅定期券発売所の横)を22年度に拡充するとともに、より効果的に運営し、市民の障がいに対する理解促進を図ります。



#### 上半期の取組状況

現在、拡充整備の設計を終え、今後の工事に向けて準備を進めています。

#### 今後の取組

平成 22 年 11 月頃より、拡充工事を開始する予定です。



### 元気はっけん（派遣）事業

進捗度 /

人材派遣会社を通じた企業等への派遣を試行的に実施し、重度の障がいのある方などの民間企業での雇用機会を広げていきます。

#### 上半期の取組状況

上半期中に、1 名の方を企業に派遣するとともに、研修事業などを計画どおりに実施しています。

#### 今後の取組

今後も引き続き、研修事業の充実や派遣機会を増やし、雇用機会を広げていきます。

### 障がい者施設等に対する発注機会の拡大

進捗度 /

施設で行っている清掃などの役務サービス等の発注機会の確保と拡大に向け『元気ジョブアウトソーシングセンター』を核として、民間企業への営業を進めていきます。

#### 上半期の取組状況

民間企業や官公庁等からの発注機会を進めるため、『元気ジョブアウトソーシングセンター』では、営業活動等を積極的に展開しています。昨年度から計 1,000 万円を超える成約実績があります。



#### 今後の取組

今後も、引き続き、同センター機能を十分活用し、発注機会を増やしていきます。

### 地域活動支援センター（就労者支援型）運営費補助事業

進捗度 /

就労者支援型の地域活動支援センターへの補助を実施し、就労している障がいのある方の日常生活・就労面双方の相談等に応じていきます。

#### 上半期の取組状況

現在、1 か所設置しているセンターで、日常生活面・就労面の相談等に応じて、障がいのある方のニーズに合わせた事業を展開しています。

#### 今後の取組

22 年度中に、さらに 1 か所増やし、相談体制の充実を図っていきます。

## 障がい者協働事業

進捗度 /

障がいのある方が他の従業員からサポートを受けながら共に働く、協働事業所を拡充していくとともに、当該事業を広くPRし、障がい者雇用に関する理解を進めていきます。

### 上半期の取組状況

22年9月に、障がい者協働事業を活用した「元気カフェ」を市役所1階ロビーに開設しました。

### 今後の取組

「元気カフェ」を含めて、現在9か所で実施しており、22年度中に、さらに実施箇所を1か所増やす予定です。

## 知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成モデル事業

進捗度 /

障がいのある方の社会参加を支援するため、NPO法人などの民間団体と連携し、高等養護学校卒業生などを対象に、ホームヘルパー3級養成講座を実施します。

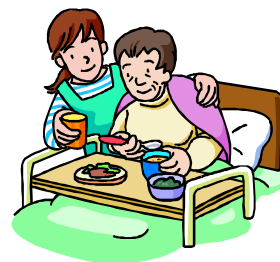
22年度は、資格取得後の社会参加などの効果を検証するとともに、より就職に有利な2級講座もあわせて実施していきます。

### 上半期の取組状況

今年度は、既に2級講座を開講しており、19名が登録し、受講しています。

### 今後の取組

下半期は、3級講座の開講を予定しており、次年度以降は、2級講座による効果を検証して、事業を進めていきます。



## 障がい者グループホーム・ケアホームの拡充

進捗度 /

障がいのある方が安心して地域での自立生活が営むことができるよう、暮らしの場となるグループホームやケアホームを拡充していきます。

### 上半期の取組状況

平成22年7月末日時点で、34か所の住居が新たに設置されており、計画を上回り、順調に推移しています。

### 今後の取組

引き続き、グループホーム・ケアホームの新規設置時に必要となる、共用備品の購入経費等を補助します。

## 障がい福祉施設耐震化等整備費補助

進捗度 /

火災・地震時に自力で避難することが困難な方々が多い社会福祉施設(入所施設)の安全・安心を確保するため、建物の耐震化整備及びスプリンクラー整備を行います。



#### 上半期の取組状況

北海道より交付決定された、9施設・事業所について、順次整備を行っております。

#### 今後の取組

各施設の整備完了後、実績報告書に基づき審査を行い、補助金の交付を行います。



### のぞみ学園改修事業

進捗度 /

利用者に適切な療育環境を提供するため、老朽化・狭隘化等が進んでいる昭和56年度に建設された第1種自閉症児施設「札幌市のぞみ学園」の改修工事を行います。

#### 上半期の取組状況

平成21年度に引き続き、本体施設の改修工事を行っていきます。

#### 今後の取組

引き続き、電気設備等本体施設の改修工事を行い、平成22年秋頃、供用を開始いたします。

### 優しさと思いやりのバリアフリー

進捗度 /

「数値化されたバリアフリー基準のみに頼るのではなく障がいのある方や高齢者の力を借りて、人の目や感覚で確認していくバリアフリー」を制度化します。

#### 上半期の取組状況

「公共的施設のバリアフリーチェックシステム」及び「危険施設等通報システム」の運用を開始しました。

#### 今後の取組

2つのシステムが効果的に機能するよう運用していきます。



### 地下鉄エレベーター等の整備

進捗度 /

札幌市では、高齢者や障がいのある方などの社会参加を促進し、誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを目指して、地下鉄のエレベーターを設置しています。

#### 上半期の取組状況

南北線中の島駅（真駒内方面）、東西線東札幌駅（新さっぽろ方面）の工事に着手しました。

#### 今後の取組

平成23年夏頃に共用開始を予定しています。これにより、地下鉄駅全駅全方面のエレベーター整備が完了します。

## 医療体制の確保

### 新型インフルエンザ対策の推進

進捗度 /

昨年度発生した新型インフルエンザ対策について検証し、感染拡大を可能な限り抑制し、健康被害を最小限にとどめるための体制の整備を進めています。

#### 上半期の取組状況

新型インフルエンザ対策行動計画の見直しを行うため、関係する各部署から構成されるプロジェクト会議、専門家による有識者会議を開催し、昨年度の総括を行いました。

#### 今後の取組

近く改定される国の行動計画の内容を踏まえ、本市の行動計画を改定し、さらに業務継続計画の策定を行います。

### 産婦人科救急医療体制の充実

進捗度 /

医療機関の受入れ可否情報の集約、患者搬送の手配、夜間における産婦人科に関する救急電話相談を行います。

#### 上半期の取組状況

1日あたり5.5件の救急電話相談があり、救急搬送が必要となった患者に、適切な医療を提供できました。

#### 今後の取組

救急電話相談に適切に対応するとともに、関係医療機関との連携をさらに強化し、引き続き、迅速な救急搬送を継続します。



### 救急医療体制の確保

進捗度 /

札幌市における救急医療体制をより円滑に推進するため、救急医療体制整備支援事業を進めます。

#### 上半期の取組状況

救急医療の当番体制を予定通り実施し、市民の皆様安心していただける救急医療体制を確保することが出来ました。

#### 今後の取組

関係機関と連携し、引き続き、安心・安全な救急医療体制を提供していきます。

## 災害時医療体制の整備事業の推進

進捗度 /

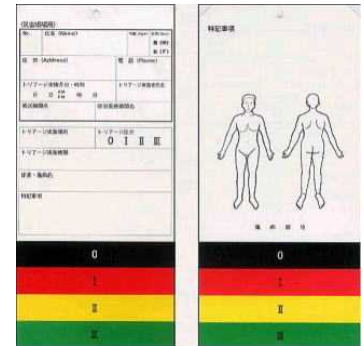
大地震等により多数の負傷者が発生した時に、適正な医療を迅速に市民に提供できるように、札幌市医師会等の関係団体や医療機関が一堂に会した訓練等を実施します。

### 上半期の取組状況

訓練の実施に向けて、訓練内容の詳細について、札幌市消防局や危機管理対策室と協議を行いました。

### 今後の取組

さらに検討を進め、災害時を想定して、関係団体が一堂に会した情報伝達訓練等の効果的な訓練を実施します。



## 食の安全・安心の確保

### 札幌市食品衛生監視指導計画の策定・実施

進捗度 /

平成 22 年度札幌市食品衛生監視指導計画を策定し、計画に基づいて監視指導、食品の抜き取り検査、食の安全・安心に関するリスクコミュニケーションを行います。

### 上半期の取組状況

食品の抜き取り検査における輸入食品の検体数を増やして検査を強化しています。輸入魚介類加工品における表示違反を発見し、販売の中止と改善を指導しました。

### 今後の取組

引き続き、計画に基づいた監視指導等を行うとともに、食の安全・安心に関するリスクコミュニケーションを行います。

### 安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業

進捗度 /

食産業や観光の振興も視野に入れた食の安全・安心に関わる施策について、基本的計画を策定し、規制と市民との連携・協働の両方の手法でより一層推進します。

### 上半期の取組状況

さっぽろ食の安全・安心推進ビジョンの素案を作るとともに新たに市民モニター事業を開始しました。

### 今後の取組

さっぽろ食の安全・安心推進ビジョンを策定するほか、市民・事業者双方を対象とした新たなイベント等の事業を積極的に展開します。



市民モニター研修会

## 子どもを生き育てやすい環境づくり

### 妊婦健康診査の公費負担拡充

進捗度 /

妊婦が経済的な心配をすることなく、安全で安心な出産と健康な子どもの出生を迎えられるよう、14回の健診を公費負担で実施します。

#### 上半期の取組状況

14回分の健診の公費負担を実施するとともに、市外の医療機関で受診した場合に、健診費用の助成を実施しています。

#### 今後の取組

定期的な妊婦健診の必要性について、母子健康手帳の交付時、保健所ホームページなどで周知を進めていきます。



### 未受診妊婦防止・解消啓発事業

進捗度 /

未受診妊婦当人のみならず、広く市民に、未受診のまま出産を迎えることの危険性を訴えるとともに、誰もが安心して妊娠・出産できる社会づくりを呼びかけます。

#### 上半期の取組状況

9月15日からスタートした母子健康手帳の表紙デザイン募集を皮切りに、10月から、新たな取組を加えて事業を強化していくための準備を進めました。

#### 今後の取組

10月からは、地下鉄媒体を使った広報展開や、昨年度からの協力企業・団体に加え、さらに多くの民間企業と連携した取組を実施します。

### 不妊治療支援事業

進捗度 /

不妊に悩む夫婦の経済的、精神的不安を軽減するため、高額な医療費がかかる特定不妊治療費の一部助成と、不妊専門相談センターでの相談及び情報提供を実施します。

#### 上半期の取組状況

助成金の申請件数は、平成22年8月末時点で430件であり、年々申請件数が増加しています。

#### 今後の取組

講演会や交流会を開催し、不妊に悩む市民の精神的負担が軽減するよう支援していきます。また、リーフレットやホームページの内容を改訂し、情報提供に努めます。

## 生後4か月までの全戸訪問(母子保健訪問指導事業)

進捗度 /

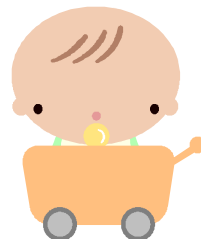
生後4か月までの乳児がいる全てのご家庭に訪問し、妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及と疾病・異常の早期発見、育児不安の軽減を図り、育児を支援します。

### 上半期の取組状況

各ご家庭から提出される出産連絡票等をもとに対象者の把握に努め、対象家庭への訪問を実施しました。

### 今後の取組

母子健康手帳交付時などに事業周知を行い、できるだけ多くのご家庭への訪問実施に努めます。



## タンデムマスによる新生児スクリーニング検査

進捗度 /

生後4日から6日目の新生児を対象に、障がいの発生の予防等を目的として実施している新生児マス・スクリーニング事業の検査対象疾患数を増やします。

### 上半期の取組状況

22年度中の対象疾患数の拡充予定を大幅に早めて、8月1日に開始することができました。対象疾患数は従来6疾患から26種類へと大きく増加しました。

### 今後の取組

検査の事業化にあたって、パンフレットなど市民への周知媒体等を一新したので、様々な機会を通じて、この検査に対する認識を深めていただくようPRに努めます。

## 食育推進事業

進捗度 /

地産地消とバランスのとれた食生活を進めるために「北海道型食生活」を市民、関係団体等と共に進めています。

### 上半期の取組状況

市民から「北海道型食生活」を提案していただき、これをホームページに掲載いたしました。応募数 22件

### 今後の取組

保健センターに来所する市民だけでなく、小学生の父母等にも啓発していきます。



## 地域でのスポーツと健康づくりの推進

### 健康さっぽろ 21 推進事業

進捗度 /

市民が主体的に健康増進を図っていくことを応援する健康づくり基本計画です。ITを活用した情報提供の充実や、地域・職域との連携を推進していきます。

#### 上半期の取組状況

全国健康保険協会北海道支部と連携し、同支部のホームページで「札幌市のがん検診情報(検診内容や実施医療機関)」が閲覧できるように、健康情報の共有化を図りました。

#### 今後の取組

地域保健と職域保健の連携による健康支援を行うため、札幌市が参加する「地域・職域連携推進連絡会」において、「札幌圏域健康づくりセミナー」を開催予定しています。

### 市民健康づくりサポート事業

進捗度 /

市民の自主的・継続的な健康づくり活動をサポートするために、手軽に取り組めるウォーキングなどの普及を図ります。

#### 上半期の取組状況

「ウォーキング実践指導ボランティア研修」受講者が中心となり、民間団体・行政が協働し「第3回市民交流ウォーキング大会」を開催しました。

#### 今後の取組

生活習慣病予防対策として、「ウォーキング実践指導ボランティア研修事業」を実施いたします。



### 特定健康診査・特定保健指導の推進

進捗度 /

生活習慣病の発病や重症化を予防し、加入者の健康状態の維持・向上を図ることを目的に、「特定健康診査」と受診結果に基づき実施する「特定保健指導」を進めます。

#### 上半期の取組状況

特定健診・特定保健指導の実施率向上のため電話勧奨を行うとともに、新たに特定保健指導の利用者にスポーツ施設の利用券を提供するなど事業を推進しています。

#### 今後の取組

11月を特定健診受診推進強化月間とし、日曜日に健診が受診できる医療機関をPRするとともにPR冊子を配布するなど制度の周知を進めます。



## その他の重点取組項目

### 自殺総合対策の推進

進捗度 /

自殺対策を総合的かつ効果的に推進し、「ひとりでも多くの命を救う」ことのできる地域社会の構築に向けて各種事業を実施します。

#### 上半期の取組状況

「自殺予防巡回パネル展」、「借金・就職・健康無料相談会」、「かかりつけ医うつ病対応力向上研修」等を実施しました。

#### 今後の取組

人材養成を目的とした研修会、多重債務に関する無料相談会等、各種事業の実施を予定しています。



### 災害時要援護者避難支援対策

進捗度 /

市内4つのモデル地区において、災害時要援護者（高齢者、障がいのある方など）の避難支援体制を整備します。また、普及啓発として出前講座やフォーラムを実施します。

#### 上半期の取組状況

モデル地区（厚別、清田、南、手稲区）において、取り組んでいます。また、町内会や福まち関係者を対象としたフォーラムを9月6日に開催しました。

#### 今後の取組

モデル地区において、年度末までに要援護者の避難支援体制を整備します。また、引き続き出前講座等の普及啓発を行います。

### 生活保護受給者に対する就労支援

進捗度 /

生活保護受給者の自立に向けて、多様な就労支援を行います。

#### 上半期の取組状況

就労支援相談員、就労カウンセラーによる支援とともに、母子世帯に対して就労カウンセリング事業を行っています。

#### 今後の取組

就労カウンセリング事業についてはその利用を増やすため、各区に事業の周知を図っていきます。

## 住宅手当緊急特別措置事業費

進捗度 /

離職者であって就労能力及び就労意欲のある方のうち、住宅を喪失している方又は喪失するおそれのある方に対して、住宅手当を支給します。

### 上半期の取組状況

厳しい雇用情勢が続いているため、本年4月から支給限度期間を6か月から9か月に延長し、就職までの支援をしました。

### 今後の取組

雇用情勢は今後も厳しい状況が続くことが予想され、離職された方の住宅確保を支援するため、社会福祉協議会等の関係機関と連携し実施していきます。

## 国民健康保険料収納率の向上

進捗度 /

保険サービス員制度の活用や口座振替の促進など滞納の未然防止対策をはじめとした収納対策を引き続き推進し、収入の確保と収納率向上に努めます。

### 上半期の取組状況

収納対策の結果、現年度一般分保険料について、8月末で25.55%と前年同月比+0.32%となっております。

### 今後の取組

今後も引き続き収納対策を推進し、予算収納率（現年度一般分87.00%）の確保を目指します。



## (2) 出資団体等

### 社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

進捗度 /

「さっぽろ市民福祉活動計画」に基づき地域福祉を推進するための効率的な組織体制の確立と、安定した団体運営実現のため、財政基盤の充実強化に努めます。

### 上半期の取組状況

事務局への職員派遣を2名削減し、運営費等への補助金についても、約24,000千円縮減しています。

### 今後の取組

引き続き「さっぽろ市民福祉活動計画」に基づき、複雑多様化する福祉ニーズに対応していくとともに、運営費等補助金の縮減に努めます。

### 財団法人 札幌市在宅福祉サービス協会

進捗度 /

処遇困難者に居宅介護支援や訪問介護サービスを提供するなど公益的な役割を果たすとともに、より安定した運営に向けて改善を図り、自立を一層促進します。

#### 上半期の取組状況

事務局への職員派遣を前年度から1名削減し、協力員派遣事業の補助金についても、事務の効率化等を図ることで前年度の水準を維持しました。

#### 今後の取組

中期経営計画に基づき事業収支の均衡を図り、本市からの貸付金を50,000千円削減します。

### 社会福祉法人 札幌市福祉事業団

進捗度 /

「第2期中期総合事業計画」の初年度として、更なる利用者の拡大を図るとともに、地域の福祉施設の中心的役割を担うべく積極的に計画を実行します。

#### 上半期の取組状況

デイサービスの定員増を図り利用の拡大を行うとともに、保養センター駒岡においては営業日拡大等のサービスの向上に努めています。

#### 今後の取組

地域との関係をより一層深めるとともに地域との連絡調整を行うため、各施設で運営協議会を開催し、地域団体などの声を取り入れながら開かれた施設運営を行います。

## (3) 市民との信頼関係の構築

### 障がい者による政策提言サポーター制度運営事業

進捗度 /

障がいのある方の意見を市政に反映するため、障がいのある方が自ら意見の聞き取り役や取りまとめ役となって政策提言を行います。

#### 上半期の取組状況

地域の作業所などに出向いて障がい当事者から意見を聴くための準備をしています。

#### 今後の取組

意見聴取を4回程度実施し、そこで得られた意見をもとに、サポーター内で議論を深めて政策提言につなげます。



### 社会福祉法人・社会福祉施設に関する情報提供の充実

進捗度 /

社会福祉法人、社会福祉施設に対する指導監査に関する情報をホームページにて公開し、社会福祉施設の利用者等がより充実した福祉サービスを選択し、利用することができるよう情報共有を進めます。

#### 上半期の取組状況

平成21年度に実施した指導監査の概要等と、122社会福祉法人と333施設に対する個々の定期指導監査結果について、ホームページにて公開いたしました。

#### 今後の取組

今後も、逐次情報更新を行うことにより、一層の情報提供の充実に努めます。

## 市民への「分かりやすい情報提供」の徹底

進捗度 /

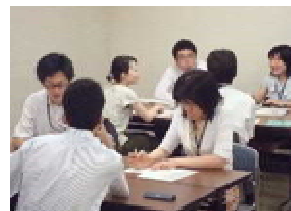
局を横断するプロジェクトを昨年度に引き続き設置し、市民の視点に立った分かりやすい情報提供を行う観点から、市民サービスアップにつながる取組を行っています。

### 上半期の取組状況

今年度の取組の方向性や具体的な取組事項について検討を行いました。

### 今後の取組

上半期の検討内容をふまえ、具体的な取組事項を決定し、確実に実行していきます。



## トピックス

## 障がい者交通費助成制度の見直し

進捗度 /

障がい種別による助成内容の格差を改善するとともに、利便性の向上を図るという観点から、障がい者交通費助成制度を見直し、平成 22 年 4 月から新たな制度としてスタートしました。

また、この制度の見直しに合わせて「身体・知的障がい者通所交通費助成制度」を新設し、通所する方に対して交通費の一部を助成しています。

障がい種別・等級		助成内容（以下から 1 つを選択・金額は年間助成上限）		
重度	身体 1～2 級	福祉乗車証	タクシー券 39,000 円	ガソリン券 30,000 円
	知的 A 精神 1～2 級			
中度	身体 1～2 級	ウィズユーカード 48,000 円	タクシー券 13,000 円	ガソリン券 10,000 円
	知的 A 精神 1～2 級			

## ヒブワクチン接種の公費負担

進捗度 /

平成 22 年 4 月から、任意の予防接種であるヒブワクチンの接種費用について、接種 1 回当たり 3,500 円の公費助成を実施しております。

### 上半期の取組状況

市民に対する周知、広報が功を奏し、接種件数は順調な伸びを示しており、事業の成果は着実にあがりつつあります。

### 今後の取組

引き続き、リーフレットやポスターの掲示等によるヒブワクチン接種費用助成事業の周知に努めます。